

船舶事故調査報告書

平成28年12月15日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成28年8月7日 17時00分ごろ
発生場所	岡山県倉敷市 ^{むくち} 六口島南方沖 下津井港一文字防波堤西灯台から真方位214° 1.7海里付近 (概位 北緯34° 24.9′ 東経133° 46.3′)
事故の概要	プレジャーボート ^{しょうた} 翔太は、漂流中、干出岩に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成28年8月22日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート 翔太、5トン未満（長さ8.20m）
船舶番号、船舶所有者等	271-35019岡山、株式会社岡山マリン・ボートセンター
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	船底外板及び舵板に擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期、潮流 東流約1～2ノット
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、家族1人を乗せ、六口島南方沖で船首を北方に向け、機関を中立とし、風潮流に圧流されながら釣りをしていたところ、干出岩に乗り揚げた。</p> <p>船長は、六口島南方沖の干出岩の存在を知っていたが、釣りに夢中になっていたため、本船が干出岩に近づいたことに気付かなかった。</p> <p>本船の喫水は、船首約0.5m、船尾約1.0mであった。</p>
分析	本船は、漂流中、船長が、釣りに意識を集中し、船位の確認を行っていなかったことから、風潮流に圧流されて干出岩に接近していることに気付かなかったものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、漂流中、船長が、釣りに意識を集中し、船位の確認を行っていなかったため、風潮流に圧流されて干出岩に乗り揚げたものと考えられる。
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 船位の確認を行うこと。